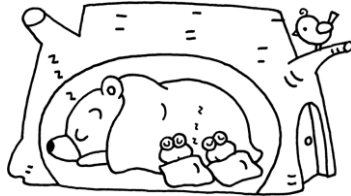




令和3年12月号
うみのこセンター
TEL(054)335-1148
FAX(054)335-1292
Mail: shimizu-uminoko@po4.across.or.jp

《交流保育について》
12月の交流保育は、15日までです。
次回は1月12日から始まりますので、よろしくお願ひします。

		1(水)交流保育	2(木)	3(金)
		ラッコ1 10:40 (親子遊び)	パンダ1 10:00 (親子遊び)	あひる 10:00 (親子遊び)
		B1 14:00 (クリスマス製作)	C 13:30 (クリスマス製作)	職員会議
6(月)	7(火)	8(水)交流保育	9(木)	10(金)
年少 親子遊び 9:45	きりん1 9:45 (クリスマス製作)	ラッコ2 10:40 (親子遊び)	パンダ2 10:00 (親子遊び)	何でも相談
特別指導	A 14:00 (クリスマス製作)	B2 14:00 (クリスマス製作)	療育相談	D 13:30 (クリスマス製作)
13(月)	14(火)	15(水)交流保育	16(木)	17(金)
りす 9:45 (クリスマス製作)	しか1、2 9:45 (クリスマス製作)	ラッコ1 10:40 (クリスマス製作)	パンダ1 10:00 (クリスマス製作)	あひる 10:00 (クリスマス製作)
E 14:00	F1 14:00	G1 14:00	職員会議	年中 親子遊び 13:30
20(月)	21(火)	22(水)	23(木)	24(金)
うさぎ 9:45 (クリスマス製作)	きりん2 9:45 (クリスマス製作)	ラッコ2 10:40 (クリスマス製作)	パンダ2 10:00 (クリスマス製作)	何でも相談
療育相談	F2 14:00	G2 14:00	何でも相談	何でも相談
27(月)	28(火)	29(水)	30(木)	31(金)
ペアレントトレーニング 10:00	何でも相談	* 29日(水)~31日(金)は年末休暇になります。		
何でも相談	大掃除			



<12月の活動について クリスマス製作>

今年もクリスマスにちなんだ製作を行います。親子で一緒にクリスマスの飾りを作って雰囲気を感じたいと思います。今年のサンタさんはどんなプレゼントをもってきてくれるでしょうか! ?
うみのこセンターのミニミニクリスマス会も楽しんで頂けたら嬉しいです。





《自閉症協会のおしゃべり会がありました》

10月25日に自閉症協会主催のおしゃべり会を行いました。自閉症協会の4人の先輩お母さんが来てくださり、うみのごセンターから参加したお母さん方の質問に、ご自身の体験を交えながらアドバイスをしてくださいました。参考になるお話が沢山ありましたのでいくつかご紹介します。

Q: 髪を切ることができない。ちょっと触っただけで痛いと言う。寝ているスキに切っているがどうしたらお店で切れるようになるか。

A: お店で他の人がいること、ドライヤーやバリカンの音、首に巻くケープが苦手だった。他のお客さんがいると大人が緊張してしまい、それが子どもにも伝わってしまう。知り合いのお店で一人だけの所で練習をした。一度に全部できなくてもできる所までやってもらった。子どもが頑張ったらいっぱいほめ、子どももほめられると嬉しくなった。大きくなって「カッコいい」という言葉に反応するようになり、今では切ることでなく染めることもできるようになった。

Q: 予防接種が大変。歯医者はまだ行ったことがない。子どものことを理解してもらえるのか不安。新しい病院はどのように探したらよいか。

A: 初めに子どものことを説明し分かってもらう。園医や校医の先生だと受け入れてもらいやすい。口コミでいい所に行ったり、外見や雰囲気子どもが入れる所に行ったり、子どもと先生の相性もあるので色々試してみると良い。注射で「痛くないよ」とうそをつくのは良くない。「10分で終わるよ」「こうすれば治るよ」と伝えてあげる。本人は怖いので、流れを絵で説明するなど配慮をする。歯医者は、痛くない時に定期的に通って少しずつ慣れていくと良い。診察室に入るだけ、椅子に座るだけ、など段階的に。また自閉症の子は自分が見えない所は理解しにくいので(こたつの中に足を入ると足がなくなるとしてしまう)、歯磨きの時は鏡で口の中を見せてあげると良い。見えると分かる様で、歯ブラシだけでなく糸ようじも使えるようになった。

Q: 外出時や園の行事の時など子どものこだわりや行動が目立ってしまい、周りの目が気になる。

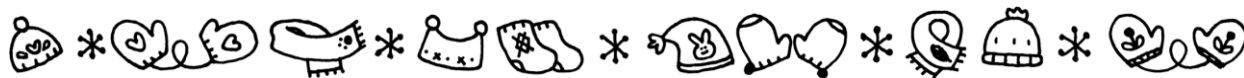
A: これがいつまで続くのだろう、と思うこともいつかは終わる。子どもはずっと成長していく。外に出さないのではなく色々な経験をすると良い。周りには味方になってくれる人もいます。子どもは大きくなった今でも、保育園や小学校の頃のアルバムをよく見ている。本人はその頃が一番楽しかったのではないかな。

こだわりとわがままの境目は難しいが、危険なことはダメとするがそれ以外のことは個性として認めてあげた方が良い。大人の基準で止めると、本人はなぜダメかが分からない。選択権は子どもに与えてあげて。興味は色々変わっていく。その時は大変でも、後になれば「あの時はこうだったね」と笑えるようになる。今は一番大変な時。でも一番かわいくて楽しい時でもある。今しかない時期を楽しんでほしい。

Q: まだ話さないでコミュニケーションが取れなくて困っている。

A: 小学5年生でやっとしゃべった。話さないで、言っても分からないだろうと思っていたが子どもはちゃんと分かっている。ほめてあげればうれしいと感じる。分からないと思わずにいっぱいほめてあげてほしい。ただ、ウソでほめるのはダメ。それもちゃんと分かっている。言葉が出ない時はパニックになりやすかったが「イヤ」と言えるようになったらパニックが落ち着いた。こちらも「嫌なんだね、それじゃやめておこう」と言えるようになった。それからは「これだけやってみようか」と言っても「イヤ」と言っても何もしなくなったが…。

うみのごセンターのお母さん方の質問に、先輩お母さん方はとても丁寧に、親身になって答えて下さいました。苦労もされたと思いますが、皆さん口をそろえて「子どもは成長する」とおっしゃっていたのがとても印象的でした。参加されたお母さん方も「参加して良かった。勇気をもらえました。」と話していました。



*うみのごセンターのおたよりは、ホームページから閲覧することができます。予定の確認などにご活用ください。各行事のお知らせや、活動報告なども随時掲載しています。ぜひご覧ください。

〈閲覧手順〉 ①静岡市しみず社会福祉事業団 トップページ <http://www.shimizu-294.jp>
イベント報告→うみのごセンター
② トップページ 「新着情報」